

# 国際会長ニュース

2025年3月



A・シャナヴァスカーン  
2024/25 国際会長

## 国際会長メッセージ

親愛なるワイズメンズクラブ国際協会の会員の皆さま、そして友人の皆さま

2月は、私たちの運動にとって、悲しみと進歩の両方の瞬間が訪れました。深い悲しみとともに、私たちの国際会計であるエリック・ブレイオムの逝去を悼みます。彼を失った悲しみは深く、私たちの思いと祈りは、彼の家族とともにあります。私たちは、エリックの残りの任期を務める、経験豊かな国際財務のリーダーを探し、選出するプロセスを開始します。次期国際会計の選出は、2025/26年の国際選挙期間中に予定どおり行われます。

困難な状況にもかかわらず、2月はダイナミックな月となり、私のホーム区であるコヴァラムで国際次期理事サミットが開催されたほか、オンラインでも実りある年央会議が開催されました。サミットは、大成功を収め、50人以上の参加者が一堂に会して洞察に満ちた議論と貴重な交流を行いました。サミット前後の旅は、クラブ活動の見学やいくつかの新クラブのチャーターなど、訪問団とホスト区双方にとって充実した経験となりました。次期理事サミットの結果は、2025/26年までに会員数26,000人というマイルストーンを達成するという私たちの決意をより強固なものにしました。サミットの成功に尽力してくれたホスト委員会、国際執行役員、国際書記長、LTOD国際事業主任、国際本部のスタッフの皆さまに心から感謝します。

2月16日、私はコインバトルのワイズメンズクラブが主催した、14組の貧困カップルのための盛大な結婚式という素晴らしい地域奉仕プロジェクトに出席する機会に恵まれました。クラブが主催したこの心温まる取り組みには、ジョース国際書記長、地域リーダー、そして米国からトム・マッセーとロリ・スワンが出席しました。このようなプロジェクトは、私たちの運動を特徴づける奉仕と親睦の精神を例証するものです。



次期理事サミット 2025年2月11-14日 インド ケララ

3月に入り、私たちは2つの重要なテーマ抱えています：

1. 国際女性デー(3月8日)： 私は、すべてのクラブと区がこの日を熱意をもって迎えることを強く求めます。私たちは、組織内外のあらゆるレベルにおける女性リーダーのかけがえのない貢献を称え、認識しましょう。ジェンダーに公正な社会を育むための有意義な議論と取り組みを奨励します。
2. 環境強調月間： 国際環境保護基金を支援し、すべての国際プログラムに献金するよう、すべてのクラブと会員に呼びかけます。残念ながら、国際プログラムへの献金は、近年減少傾向にあります。今年度、私たちの総力を挙げてこの傾向を逆転させることが急務です。

私たちの親睦が深まり、地域社会への影響力が深まるような、充実した1カ月となりますよう、お祈りします。

共に変化を起こし続けましょう！



A・シャナヴァスカーン  
国際会長



ジュネーブから改めてご挨拶申し上げます。

悲しいことに、先月初めに国際会計が予期せぬ形で逝去されました。エリック・ブレイオムは、YMIファミリーの長年のメンバーで、1970年にソーンダーボルのワイズメンズクラブに入会しました。長年にわたり、クラブ会長、区理事、地域会計、YMI/YMCAリエゾン地域事業主任、国際議員、国際会計など、さまざまな役職を務めました。彼の指針主題である「隣人を愛せよ」は、彼の比類なき親睦、友情、奉仕の精神の証でした。エリックは、ワイズマンの真髓を体現し、彼の存在が深く惜まれることでしょう。Zoom で開催された年央会議では、哀悼の決議が採択されました。それは、[ここ](#)から読むことができます。悲しみにもかかわらず、私たちは前を向いていなければなりません。国際憲法に従い、次期国際会長のエドワード・オンが一時的に国際会計の役割を果たしています。各区は、理事メモ3を通じて、3月14日までに国際本部にエリックの後任を推薦するよう要請されています。臨時選挙は、2025年5月22日に終了します。

先月、私たちは、インドのコヴァラム・ビーチで第5回目となる「次期理事サミット」を開催しました。世界各国から集まった50人以上の参加者を、インドのワイズメンや女性たちが歓待し、彼らの文化やクラブライフを分かち合ってくれたおかげで、このイベントは特別なものとなり、大成功を収めました。次期理事サミットの写真と概要は[5ページ](#)をご覧ください。

3月は、社会奉仕活動のハイライトの時期です。あなたのクラブは、どのように地域に変化をもたらしていますか？愛、思いやり、犠牲心、無私の精神という私たちの基本的価値観を示すクラブ会員の積極的な参加によってのみ、私たちは「戦略2032」の目標を達成することができます。

YMIを親睦と地域社会への影響におけるリーダーにするという戦略2032の目標を達成するために、[13ページ](#)のCS国際事業主任イ・ヨンファの記事をお読みください。

3月は、「グリーン」(カーボン・オフセット)プロジェクトやその他の環境への取り組みの強調月間です。今年度の代表者立法協議会(国際議会)では、環境委員会の推薦により、2つのソーラーパネル・プロジェクトが承認されました。最初のプロジェクトは、コソボYMCAを支援するもので、11月に成功裏に完了し、YMCAキャンプの完全な電力の自給自足を可能にしました。スリランカYMCAとの2つ目のプロジェクトは、今後数ヶ月以内に完了する予定です。詳細と写真は[11ページ](#)に掲載しています。

YMIは、カーボンニュートラルな組織を目指すという私たちのコミットメントを再確認します。当協会の環境方針を再度ご覧いただき、より環境に優しく持続可能な地球に貢献する行動をとることをお勧めします。環境分野で真のインパクトを与えるためには、経済的支援が必要です。国際本部に年次国際プログラム献金を提出する際には、YMIの環境保護基金への寄付を忘れずに書き添えてください。また、春夏シーズンに向けて準備を進めているクラブが、Week 4 Wasteの清掃活動など、環境に影響を与える活動の計画を立てていることを願っています。

最後に、タイム・オブ・ファスト(TOF)助成金申請の最終の案内です。TOFは、YMIのフラッグシップ・プログラムです。1970年代初頭以来、YMCAや世界中のYMIのクラブと協力して、自助と開発のプロジェクトに800万スイスフラン以上を提供してきました。TOF委員会は、すべての地域からプロジェクトの申請書を受け取ることを希望し、提出された申請書を審査した上で、2025年8月の立法協議会(国際議会)での審議と投票のために助成の推薦を行います。1プロジェクトあたりの助成金の上限は15,000スイスフランです。[TOFの助成金を申請しましょう](#)。



ジョース・ヴァルギース  
国際書記長

## 編集長から

編集長に、国際会長ニュースに関するあなたの考えやアイデアをお知らせください。

3月の強調月間テーマは、W4Wと  
ロールバックマラリアです。

以下をクリックして、3月15日までに記事を投稿してください

[編集長へ](#)



# 次期理事サミット 2025

# RDE Summit 2025

2025年2月11-13日 インド、ケララ



第5回ワイズメンズクラブ国際協会次期理事サミット2025が、対面にて2025年2月11日から13日まで、ケララ州コヴァラムのウダヤサムドラ・ビーチ・リゾートで開催されました。この3日間のリーダーシップ・サミットには、次期理事、次期地域会長、国際執行役員が一堂に会し、組織の戦略的方向性について話し合いました。この会議は、ワイズメンズクラブ国際協会インド地域と南西インド区が主催いたしました。

サミットは、インド地域会長であるV・S・ラダクリシュナンによる公式歓迎で始まり、国際会長A・シャナヴァスカンによる伝統的な点灯式が始まりました。参加者は、自己紹介やアイスブレイクを行った後、サミットへの抱負について話し合いました。次期国際会長エドワード・オンの進行により、リーダーシップとそれに関連する課題についての考えを共有するセッションが行われ、その後、ワイズメンズクラブ国際協会に関するSWOT分析グループミーティングが行われました。初日の最後は、元地域会長アナンド・ジェイコブ・ヴァルギース主催の文化パフォーマンスと懇親晚餐会で締めくくられました。

2日目は、次期国際会長エドワード・オンによるビジョン2025/26に関する基調講演で始まりました。国際憲法審査委員会のV・S・バシル委員長と国際書記長ジョース・ヴァルギースによる、ワイズメンズクラブ国際協会の国際憲法についての詳細な解説が行われました。ティボール・フォキLTOD事業主任は、次期理事間の協力を促進するためのチームビルディングセッションをリードしました。シャジ・マシュー理事(インド南西区)、トニー・チャン次期理事(香港)、クリスチャン・ヘルムズ次期理事(デンマーク)、パク・クニョン次期理事(韓国全南区)、サンドラ・スポルディング次期理事(カリブ海)が、会員増強、資金調達、若者の参加について話し合いをリードしました。国際書記長ジョース・ヴァルギースもまた、理事の役割と責任について発表しました。この日は、現地視察と南西インド区主催の公式晚餐会で幕を閉じました。

3日目は長期的な戦略立案に焦点が移り、ワイズメンズ国際協会の未来を描く「戦略2032」が紹介されました。国際本部スタッフのトレイシー・モヴィリアッティは、国際プログラムと表彰に関する最新情報を発表しました。地域レベルにおける目標設定会議では、ミッション100の下での会員増強、クラブの復活、拡大について話し合われました。次期地域会長ジョースフ・カンジャマラ、メリー・グズマン、ジェンス・バイスコフ、パク・チャサン、田上正が次期理事とともに報告を行いました。大会ホストコミッティー・アジス・バブによるiMIS普及活動に関する発表が行われました。元国際会計フィリップス・チェリアンが国際協会の財政の概要を説明し、ドバイで開催される2026年国際大会に関する議論は、IC26推進委員長のT・M・ジョースが主導しました。

### 閉会とまとめ

サミットは、私たちが鼓舞するセッションである、トム・マッセーとロリ・スワン(トライアングル2コンサルティング、米国)による「Igniting Spark: Strategic Approach to Achieving Mission and Goals(火花に点火する:使命と目標を達成するための戦略的アプローチ)」で締めくくられました。国際会長A・シャナヴァスカーンによるサミット閉会宣言に続き、直前国際会長ウルリック・ラウリドセン、次期国際会長エドワード・オンによる2025年・26年の地域会長と理事の壮行式が行われました。サミット終了後は、次期国際会長エドワード・オン主催の別れのカクテル会および晩餐会が催され、サミットは、盛況のうちに幕を閉じました。



クリックしてアルバムをご覧ください



# プレサミット訪問



# 国際議会 年央会議

2025年 2月22-23日

2月22日、23日の両日、Zoomにて国際協会年央会議が開催されました。会議は、国際会長A・シヤナヴァスカーンの司会で進められました。冒頭、国際会計エリック・ブレイオムの逝去に対する哀悼声明を採択しました。会議では、国際執行役員、国際書記長、地域会長、国際事業主任、委員会特別調査委員長およびチーム委員長からの報告が行われました。会議の中では、2026年国際大会に関する最新情報が共有されました。次期国際会長エドワード・オンは、2025/26年のビジョン、目標、主題、スローガンを発表しました。次期地域会長が2025/26年の目標と計画を発表しました。

- [国際会長ビジョン、目標](#)
- [会員数報告](#)
- [国際書記長報告](#)
- [2026年国際大会\(ドバイ\) - Save the date ビデオ](#)

会議の議事録は、間もなく配布されます。







# 世界女性デー

## 3月8日

1911年に初めて祝われた国際女性デーは、より良い労働条件を求める女性労働者と活動家の闘いから生まれました。長年にわたり世界中の女性が、選挙権、教育、職場での平等、リーダーシップの機会など、基本的自由のために闘ってきました。この日は、完全な男女平等を達成するために必要な前進と現在進行中の努力の両方を、力強く思い起こさせるものです。

YMIは長年にわたり、平等な権利と女性のエンパワーメントを推進するパイオニアです。1972年、国際理事会は、女性会員の入会を認めることを推奨しました。この決定は、翌年、各クラブによって批准されましたが、この画期的な出来事は、ライオンズクラブ国際協会やロータリー国際協会など、他の主要な奉仕団体が女性会員を入会させるよりもずっと前のことでした。ライオンズ、ロータリーは、その10年以上後に女性会員を認めました。

この遺産に敬意を表し、YMIを形作ってきた先駆的な女性たちやすべての人々にとって、より良く、より公平な世界を目指す私たちの取り組みを強調する出来事を振り返り、賛辞を送るようクラブに呼びかけましょう。



**YMCA ワイズウィメン**  
YMCAにとって初めての、女性だけで構成された最初のワイズメンズクラブ国際協会クラブがミネアポリスのサウスデールYMCA支部で設立されました。ワイズメン(ワイズウィメン)はYMCAの成人奉仕団体で、全米と海外111カ国に2万人以上の会員がいます。ワイズウィメンのチャーターメンバーは、以下のとおりです。(前列左から右)オパール・スワンソン、ベス・カート(副会長)、アリシア・クロウ(会長)、パット・ラーソン(書記)、リン・マカーシー(会計)、パット・ティオスヴォルト、(後列左から右)スー・マレク、ベス・ブライアン、ドロレス・ブライアン、ナンシー・ショーランド、コンスタンス・ソリエ、ジュディ・リショルスキー、エディ・モス、ジャン・リーカー、バーブ・バートルソン、デブラ・トンプソン



**ワイズウィメン**  
女性だけで構成されたワイズメンズクラブ国際協会クラブの最初の役員たち。役員は、以下のとおりです。(左から右)：アリシア・クロウ会長、ベス・カート副会長、パット・ラーソン書記、リン・マカーシー会計

- 最初のワイズウィメンズクラブは、ミネソタ州サウスデールで1977年に設立されました。
- 最初の女性の国際議会議員は：
  - ・エドナ・バケット(ジャマイカ、1978－1980)
  - ・アリアニ・ブレナー・フリードゥル(米国、1979－1982)
- 最初の女性国際会長は、レイチェル・リーグ(1990/91、米国)、そして後継者は：
  - ・ジョン・ウィルソン(2016/17、カナダ)
  - ・ジェニファー・ジョーンズ(2019/20、オーストラリア)
- 2023/24年度の国際議会は、男性8名、女性7名とほぼ男女平等を達成しました。



エドナ・バケット



アリアニ・ブレナー・フリードゥル

これらの重要な節目を祝うと同時に、私たちは、私たちの運動を形成し続ける多くの女性リーダー、長年にわたり国際ヒストリアンを務め、最近のハリー・M・バラントイン賞の受賞者でもある、デビー・レドモンドのような、私たちの運動を形成し続けている多くの女性リーダーも顕彰します。私たちは、彼女たちのユニークな視点と発言力によって、私たちの影響力を強化し、現代的で活気ある奉仕団体としての地位を確立するために、彼女たちの貢献を頼りにしています。

私たちは、将来を見据え、「戦略 2032」のアジェンダに沿って、多様性とジェンダー・バランスを向上させるというコミットメントを再確認します。私たちは、より多くの女性が指導的役割を担い、私たちの運動の方向性を積極的に形成することを奨励します。

また、長年の女性パートナー団体であるワイズメネットインターナショナルへの支援も再確認するものです。元々は1924年に、ワイズメンの配偶者によってカナダで設立されたワイズメネットインターナショナルは、現在、YMIの目標を共有し、その目標を達成するために協力することを望む全ての女性に開かれています。

YMIとその枠を超えて、女性の功績を称えつつ、すべての人に等しくチャンスとリーダーシップが与えられる世界を目指して努力を続けましょう。



バラントイン賞を受賞する  
デビー・レドモンド



2024年タイ・チェンマイ国際大会  
に参加の女性リーダーたち

# 国際協会 グリーンプロジェクト

ワイズメンズクラブ国際協会は、環境の持続可能性に取り組んでいます。2010年の横浜宣言で初めて確立され、組織的な環境に関する方針の作成を通じてこの取り組みは、強化されました。2020年に開始された清掃活動プロジェクト「Week4Waste」や、「戦略2032フォワードプラン」に環境優先事項を盛り込むなどの取り組みにより、このコミットメントは、近年さらに強化されています。

横浜宣言は、YMIのカーボンニュートラルを約束し、YMIリーダーのカーボンフットプリントを相殺することを目的とした「グリーン」プロジェクトの導入につながりました。これらのプロジェクトは、典型として、世界中のYMCAに太陽光発電設備を設置するための資金を提供し、YMCAの持続可能性の目標を支援しています。

2024年、国際大会登録料に10米ドルの賦課金を課すという動議が国際議会に提出されました。この賦課金は、炭素排出と気候変動の危険性に対抗する今後の取り組みに役立てられます。部、区、地域でも同様の取り組みが強く奨励されています。

また2024年、調達可能な予算に基づき、環境委員会は2つのカーボンオフセット・プロジェクトへの資金提供を推薦しました。

- スリランカYMCA同盟の10kWの太陽光発電システム設置のための3,366スイスフランの拠出
- コソボYMCAの19.62kW太陽光発電システム設置のための6,514スイスフランの拠出

コソボでは、立地による困難にもかかわらず、YMCAのキャンプ場の太陽光発電システムが 2024年11月に完成しました。システムは、現在完全に機能し、100%、電力を自給自足しています。このプロジェクトには、寿命30年のパネル、ソーラー照明、地下送電線の敷設、電池の故障の際のバックアップ発電機の購入と接続も含まれています。さらに 高度なモニタリング・アプリケーションが、エネルギー生産量、バッテリー寿命、ガスや石炭などの代替エネルギーを追跡します。このプロジェクトは、YMIのデンマーク区、ヨーロッパYMCA同盟およびその他の後援者からも支援を受けました。



コソボYMCA グリーンプロジェクト 太陽光パネル

スリランカでは、2025年1月にこのプロジェクトが開始され、承認された資金の50%が提供されました。しかし、配電が国政の管轄下にある地域にソーラー発電が設置されるため、政府の承認を得る必要があります。2月に遅れが生じました。このプロセスには通常 2から4カ月かかりますが、このプロジェクトは、今年度中に完了することが期待されています。



スリランカの太陽光パネルプロジェクト

これらのプロジェクトは、YMIのクリーンエネルギー解決策を推進し、二酸化炭素排出の悪影響を逆転させるという献身的な姿勢を示しています。再生可能エネルギーのインフラに投資することで、YMIは、環境持続可能性と、より環境に優しい未来を推進するという使命を継続しています。

環境への取り組みをさらに支援し、将来の「グリーン」プロジェクトのための資金を確保するために、YMIの環境保護基金への寄付をお忘れなくお願いいたします。さらに、YMIクラブとYMCAは、2025/26年度の[活動補助金を申請](#)することができます。3月15日まで受け付けています。



# 地域奉仕(CS)

イ・ヨンハ CS国際事業主任 韓国地域・韓国南区



2024/25年度の地域奉仕(CS)国際事業主任としてYMI活動に参加できることを嬉しく思います。

CSは、積極的な参加と連帯を通じて、地域住民の健康と福祉を増進し、豊かで調和のとれた地域社会を育み、さまざまな社会問題に取り組むことを目的としています。自発的な参加を促すことで、地域住民の一体感と責任感を強め、責任ある市民としての役割を果たす手助けをします。

さらに、恵まれない人々の支援、環境保護、災害の防止と対応、教育格差の是正、高齢者や社会的弱者のケアなどにも力を注ぐべきです。より大きな関与と意義ある率先した取り組みを通じて、私たちは地域社会にポジティブな影響を与え、永続的な変化を生み出すことができます。

多くの地域社会は、限られた資源とマンパワーに苦しんでいます。クラブが提供する時間と献身は、こうした課題を軽減するのに役立ちます。CSには、物質的な援助にとどまらず、技術研修、知識の共有、技能開発など、個人や地域社会の力を高める活動も含まれます。

継続的な奉仕活動は、個人だけでなく社会全体にも大きな恩恵をもたらします。長期的なコミットメントは、1回限りの努力に比べて、より深い変化を育みます。このような取り組みは、対外的な支援を提供するだけにとどまらず、集団としての成長と発展の機会を生み出します。積極的な参加を通して、私たちの会員は、地域社会との絆を深め、地域社会のニーズを深く洞察し、その過程で自己の成長を実感することができます。

奉仕活動に定期的に参加することは、個人が人生により大きな意味を見出す助けにもなります。より広範な社会的目標と結びつけば、たとえ個人的な小さな行動であっても、大きな変革に貢献することができます。継続的な参加は、自己向上を促し、社会に対する責任感を高めます。

最終的には、ボランティア活動とは、単に時間を提供することではなく、自分と地域社会との深いつながりを体験し、小さな親切が誰かの人生を大きく変えることを実感することなのです。継続的に参加することで、私たちは、より良い人間へと成長し、より良い世界を築くという共通の目標に近づくことができます。

CS国際事業主任として、世界中のクラブが行っているさまざまな奉仕活動を収集し、分類することが不可欠だと強く感じています。そうすることで、革新的な社会奉仕の取り組みを再確認し、共有することができ、私たちの影響力についてより現実的な理解を深め、私たちの運動のポジティブなPRを促進することができます。各区を通じて、皆さんの奉仕活動の報告をお待ちしています。

地域社会への貢献と奉仕は、YMIクラブの中核的使命の一つです。YMIは、クラブがそのインパクトのあるプロジェクトを世界中の会員と共有し、他の会員が行動を起こすよう刺激し、意欲を高めることを奨励しています。YMIは、毎年、優れた功績を称え、地域社会奉仕に並々ならぬ献身を示したクラブに、コミュニティーサービス賞を授与しています。

コミュニティーサービス賞の申請は、毎年6月15日まで受け付けています。この賞は、ひとつのクラブが企画・実施するプロジェクトと、部、区、地域レベルで複数のクラブが協力して実施するプロジェクトの2つのカテゴリにおいて授与されます。詳しくは、YMIの[CSのウェブページ](#)をご覧ください。あなたの取り組みを紹介し、この名誉ある賞の受賞にチャレンジしてください。

## インドでのCSプロジェクト 盛大な結婚式



コインバトルワイズメンズクラブが企画した注目すべきCSプロジェクト  
14組の貧困カップルのための盛大な結婚式  
インド地域、南インド区

# 全ての社会倫理の頂点

ビリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任



私たちの社会には、多くのルールや規制があり、それらのルールが時として互いに相反し、不必要な複雑さや混乱を引き起こすことがあります。これは、よくあることです。私たちは、このジレンマを、聖書のあるルールからも知っています。

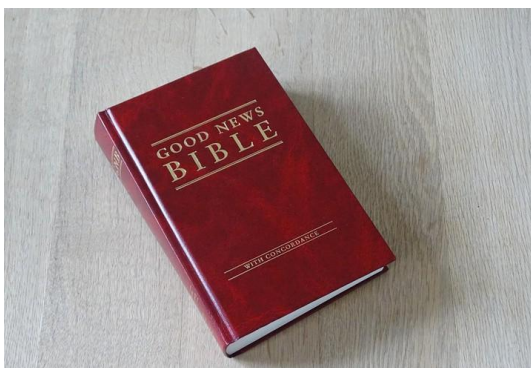
マタイによる福音書22章によると、パリサイ人の一人がイエスに尋ねました。「律法の中で最大の戒めはどれか？」イエスは答えられました。「あなたの神である主を愛し・・・、隣人を愛しなさい。」。これは実に見事な答えでした。この答えによって、イエスは、律法学者を黙らせた。ヨハネの福音書13章から15章にかけて、イエスは本質的な戒めを述べています。そして、マタイによる福音書7章12節では、「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」と結んでいます。これらが組み合わさって、黄金律が形成されています。

このような社会倫理のアプローチにおいて、キリスト教は、孤高の存在です。他の宗教や哲学も同じ考え方を持っていますが、否定的な表現をしています。「自分がして欲しくないことを、他人にしてはならない。」。これは、同じではありません。否定的に表現する方が簡単だと思います。肯定的に書けば、神の助けが必要だとわかります。自分の力だけでは無理なのです。「自分がしてもらいたいことを人にもしなさい。」、あるいは、「コモン・バイブル」はこう言っています。「人があなたにしてほしいと望むことは何でも、彼らにもそうしなさい。」。これがすべての社会倫理の頂点と呼ばれるのも不思議ではありません。もし私たちがイエスのこのひとつの戒めに従おうとするならば、他のすべての戒めや規則が不必要であることがわかるでしょう。

もし、私たちが黄金律に従おうとするならば、もし、私たちの愛する組織であるワイズメンズクラブ国際協会において、イエスの一つの戒めに従おうとするならば、私たちは、より多くのことを成し遂げることができるでしょう。

ある人が尋ねました。「不正義に善意で報いること、それは何ですか？」と。老師は、こう答えました。「いや、義をもって不義に報い、善をもって善に報いなければならない」と。

孔子(紀元前550～479年)



グッドニュースバイブル



孔子が弟子に教えているところ  
台北・故宮博物館.

# YMI 最新情報

## 世界の各地から

### ワイズユースクラブ活動



国際ユース代表のブライアン・サイモン・ワルチョとケニアのワイズユースクラブは、iGoプログラムについての特別な学習とトレーニングセッションを開催しました。



カカメガワイズユースクラブ(ケニア)は、アマレンバ小学校でガイダンスとカウンセリングを行ないました。その目的は、生徒の学業的、社会的、個人的な成長をサポートするために必要な知識とスキルを身につけることでした。

### BFプログラム



K・ヴェンカテッシュ元区理事は、夫人を伴ってBF代表として東日本区を訪問し、国際的な絆と文化交流を深めました。